

あわら市議会だより

第60号
令和元年5月15日発行

あ、あわら贅沢。
贅にはないぜいたくがあるまち



おかげさまで第60号!

3月定例会報告	2p
委員会報告	4p
一般質問	6p
激励・協賛金一覧	11p
議会トピックス	12p
請願・陳情・意見書等	12p
討論	12p
議案と結果	13p
ふるさと探訪	14p



議会がインターネットで視聴できます。

あわら市議会インターネット中継

検索

<http://www.city.awara.lg.jp/gikai/>

議会報告会を12会場で開催します

市民の皆さまに日ごろの議会活動を広く知っていただくために、議会報告会を開催します。今回は、定例会の審議内容について報告させていただき、そのあと意見交換を行います。いずれの会場でもお気軽にご参加ください。

日時	5月21日(火) 19:30~21:00	5月24日(金) 19:30~21:00	5月27日(月) 19:30~21:00
会場	中浜区民館	伊井公民館	中央公民館
	北潟公民館	吉崎公民館	細呂木公民館
	坪江公民館	湯のまち公民館	波松区民館
	本荘公民館	水口・天王自治会館	劔岳公民館

ふるさと探訪 「金津城溝江の館跡」

大溝一丁目2番21号に金津城溝江の館跡があります。溝江氏は、溝江郷南金津に本拠地を置く土着の豪族で、その名は室町時代初期に見え始めます。

戦国時代初め、朝倉氏が一乗谷を中心に越前の支配を強めた頃、溝江氏は朝倉氏の家臣になりました。溝江河内守景逸と、その子、大炊助長逸は代々朝倉氏に仕え(貞景、孝景、義景)、越前北部の防衛の拠点として、金津のこの地に(古町字夕部)に金津城を構えて、たびたび加賀の一向一揆と戦い軍功をあげました。しかし、天正元年(1573)に朝倉氏が織田信長に滅ぼされると、翌年2月19日越前・加賀の一向一揆、その勢2万人の総攻撃に合い、長逸は、子、長澄を脱出させ、景逸・長逸父子および一族郎党30余人は館に火を放ち、自刃しました。

景逸辞世の句

世の中の樂をも苦をも春の夜の
短かき夢と今日見果てぬる

(北島)



金津城溝江の館跡

編集後記

4月1日、平成に変わる新しい元号が「令和」と決まり、いよいよ5月1日午前0時に改まります。現存する日本最古の歌集である万葉集は、国民に広く親しまれた古典ですが、天皇や貴族だけではなく、防人や多くの庶民の歌が盛り込まれていることから、国民に等しく、個性を輝かせていく時代にしたいとの意味が込められています。大きな歴史の節目に、日本人の心の原点とも言える歌集で、不滅の価値があると語られている国書に少しでも触れたい思いに駆られます。

梅花は来る年来る年、厳しい寒さの中、どの花にも先駆けて咲き始めます。新年度、桜の季節、希望あふれる時代の幕開けとなるよう祈らずにはいられません。

(平野)

編集・発行責任者 議長 森 之 嗣
市議会広報編集特別委員会
委員長 山田 重 喜
副委員長 山田 知 郎
委員 山田 陽 一
委員 山田 志 代
委員 山田 治 夫
委員 山田 登 夫

発行/あわら市議会 編集/あわら市議会広報編集特別委員会

◆市民に親しまれる、議会だよりを目指しています。ご意見、ご感想をお寄せください。

〒919-0692 福井県あわら市市姫三丁目1番1号 あわら市議会事務局
Tel. 0776-73-8045(直通) E-Mail. gikai@city.awara.lg.jp



3月定例会 平成31年度一般会計予算成立 歳入歳出 147億円に

会計名	予算額	前年度比較(%)
一般会計	147億円	1.1
特別会計		
国民健康保険	32億950万円	3.1
後期高齢者医療	3億5,250万円	5.6
農業者労働災害共済	500万円	0.0
水道事業	9億4,757万円	△4.6
公共下水道事業	23億9,354万円	3.1
工業用水道事業	0円	廃止
農業集落排水事業	0円	廃止
芦原温泉上水道財産区水道事業	2億2,091万円	0.6
合計	218億2,902万円	1.2

あわら市平成31年度当初予算のポイント

人口減少・高齢化が進む中、10年先、20年先を見据えて、「誰もがときめくあわら市」の実現に向け、事務事業の推進と持続可能な行財政運営の両立を図った予算としています。

- 1 JR芦原温泉駅及び周辺の機能の充実と着実な整備の推進
- 2 子育て支援の強化、高齢者が元気に暮らすまちづくり
- 3 教育環境の充実
- 4 まち・むらの活性化及び産業の更なる振興
- 5 “あわら魅力づくり”の推進

<地方債及び基金・積立金の状況(平成31年3月末見込)>

地方債残高(市の借金)	
一般会計	177億8,886万円
公共下水道会計	106億7,293万円
水道事業会計	13億152万円
農業集落排水事業会計	5,370万円
合計	298億1,701万円(△1.9%)

市民1人当りの借金 約105万6千円(△0.4%)

※ 1人当たりの借金・貯金の算定基準
平成31.3.1現在の人口 28,221人
※ ()内は、前年度比較

基金・積立金残高(市の貯金)	
財政調整基金	28億9,100万円
地域振興基金	13億円
その他	10億8,186万円
※一般会計所管 計	52億7,286万円
国民健康保険基金	5億2,343万円
農業者労働災害共済基金	3,168万円
※特別会計所管 計	5億5,511万円
合計	58億2,797万円(△2.7%)

市民1人当りの貯金 約20万6千円(△0.5%)

3月定例会 平成30年度一般会計補正予算(第6号) 2億9,000万3千円を減額

福井県市議会議長会
2月定期総会(あわら市開催)



- 平成30年度一般会計予算総額は147億3,489万3千円に
- あわら市教育委員会委員 坂井 優 氏の任命に同意
- あわら市固定資産評価審査委員会委員
山口 博行 氏、五十嵐 正枝 氏、西村 英一 氏の選任に同意
- 人権擁護委員 永棹 厚子 氏の推薦に同意

平成31年3月定例会が2月25日から3月20日までの会期で開催されました。

今定例会では、平成30年度補正予算に関するもの6議案、平成31年度当初予算に関するもの7議案、条例の改正等に関するもの8議案、人事に関するもの5議案、その他2議案の計28議案が上程され、すべて原案のとおり可決・同意されました。

なお、今回は10人の議員が一般質問を行い、理事者に対して市政をただしました。

その他、請願1件を不採択としました。

日	内容
2月1日	福井県市議会議長会
2月1日	2月定期総会(あわら市開催)
2月12日	総合交通まちづくり調査特別委員会 ・環境対策調査特別委員会 行政視察(13日)
2月15日	議会活性化特別委員会
2月18日	議会運営委員会
2月19日	全員協議会
2月22日	広報編集特別委員会研修会
2月25日	第96回議会定例会 開会
3月4日	一般質問
3月5日	一般質問
3月6日	総務教育厚生常任委員会
3月7日	総務教育厚生常任委員会
3月8日	総務教育厚生常任委員会
3月11日	産業建設常任委員会
3月12日	産業建設常任委員会
3月13日	産業建設常任委員会
3月19日	議会運営委員会
3月20日	第96回議会定例会 閉会
4月8日	全員協議会
4月12日	広報編集特別委員会
4月16日	議会活性化特別委員会
4月19日	広報編集特別委員会

議会日誌 おもな会議のみ掲載

総務教育厚生常任委員会

インターネット中継で審査状況をご覧になれます。

平成30年度
一般会計補正予算

■政策課

**公共施設再配置計画
策定事業**
400万円繰越明許費

委員 計画策定遅延の理由は何か。
理事者 一次評価で公共施設の廃止等を機械的に整理しました。その後専門家の審議を経て進めるために時間を要しました。

委員 再配置事業について相当の年数と費用を要するので慎重に取組んでほしい。

理事者 向こう40年の計画で進めています。高度成長期に整備された施設が更新時期にきており更新すれば維持管理経費が掛かります。更新の有無は慎重に進めていきます。

平成30年度
国民健康保険特別
会計補正予算

■総務課

**まち・むら・とぎめき
推進事業**
1千万円

委員 この事業で備品購入などを認めると補助金のばら撒きになる。具体例を示すべきであると考えが。
理事者 各区のコミュニティのためになる整備ならば良いと考えています。補助金申請の段階から各区長と協議しながら進めていく考えです。

委員 国保税資産割を全廃する予定はどうなっているか。
理事者 平成33年から35年度の間で、国保運営協議会の意見を聞き、早期に資産割を全廃したいと考えます。

委員 国保税資産割を全廃する予定はどうなっているか。
理事者 平成33年から35年度の間で、国保運営協議会の意見を聞き、早期に資産割を全廃したいと考えます。

平成31年度
一般会計予算

■政策課

空き家対策事業
123万5千円

委員 空き家の利活用が進んでいないようだが、理事者 移住定住を含め、空き家の利活用を推進するため、生活環境課内に移住定住推進室を設置します。

委員 休校利活用事業の1千13万4千円の見通しはどうか。
理事者 見極めの時期にきているが、まちづくり

委員 休校利活用事業の1千13万4千円の見通しはどうか。
理事者 見極めの時期にきているが、まちづくり

子育て支援課

**市立認定こども園
運営事業**
7千980万3千円
**私立認定こども園
運営事業**
10億2千66万円

委員 幼児教育無償化について、10月以降、国の制度で3歳児から5歳児までの園料が副食費を除き無償とのことだが、現在、市独自で行っている5歳児の保育料は副食費を含めて無料である。10月以降、保護者負担になるのか。
理事者 国が副食費を除いた保育料を無償化すると定めたため、5歳児の保護者の副食費負担が発生します。しかし、議論の余地があり、各市町の状況を見ながら、再度6月議会で議論したいと思います。

健康長寿課

**健康長寿のついで
事業交付金**
360万円

委員 65歳以上を対象に地域単位で行う事業のことで、地区区長会が実施主体になっているが、区長に過剰な負担が掛からないように、柔軟に対応すべきでないか。
理事者 実行委員会方式で行い、企画段階から市の職員が関わり、区長の負担にならないようにします。



劔岳地区による長寿祭

産業建設常任委員会

インターネット中継で審査状況をご覧になれます。

平成31年度
一般会計予算

■農林水産課

**獣害対策グレイチング
整備補助金**
577万5千円

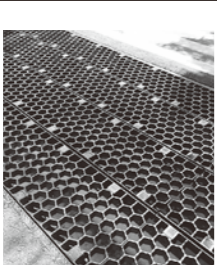
委員 市単独で事業を行うのか。
理事者 国庫補助事業の対象とするために、県に要望しています。ただし、県は国と特認の協議をする必要があります。特認が下りるのであれば、5月から6月頃となります。まずはそれを見極め、その後、効果的な設置場所も検討していきたいと考えています。

委員 この間にもイノシシは移動している。早急に進めなければ、人的被害が生じる可能性もある。強力に進めるべきである。



設置箇所の現地視察

※獣害対策グレイチングイノシシなどのひづめを持つ動物が歩行困難な格子状の溝蓋のこと。人や車は通行可能。道路など、閉鎖できない箇所に設置して、そこからの害獣の侵入を防ぐ。



■観光商工課

**あわら市観光協会への
補助金**
2千120万円

委員 非常に大きな額の補助金が交付されているが、その成果は出ているのか。
理事者 観光協会が行う事業はソフト事業なので、目に見えないことも多いです。市全体を考えて、農業団体や商工団体等とも連携しています。

あわら観月の夕べ事業
900万円

委員 今後、どのような方針で取り組むのか。
理事者 今回から「北潟湖畔観月の夕べ」から「あわら観月の夕べ」と名称を変更しました。北潟地区だけでなく、坂井北部丘陵地、波松及び細呂木も含めた一大イベントとして誘客を考えています。観月の夕べを再構築し、周辺一帯の魅力発信に努めたいと考えています。



北潟湖畔公園

委員 各地区から要望が多い事業にもかかわらず、前年度より550万円減額の理由は何か。
理事者 国庫補助を活用して舗装工事を進めているので、当該事業は減額となっていますが、道路改良工事等に要する全体の額は増額しています。

委員 各地区から要望が多い事業にもかかわらず、前年度より550万円減額の理由は何か。
理事者 国庫補助を活用して舗装工事を進めているので、当該事業は減額となっていますが、道路改良工事等に要する全体の額は増額しています。

委員 各地区から要望が多い事業にもかかわらず、前年度より550万円減額の理由は何か。
理事者 国庫補助を活用して舗装工事を進めているので、当該事業は減額となっていますが、道路改良工事等に要する全体の額は増額しています。

■新幹線まちづくり課

**西口駐車場および
西口駅前広場に係る
実施設計費**
7千200万円

委員 基本設計の実績がまだ示されていない状況で、実施設計に係る予算は認められない。
理事者 基本設計が完了次第、議会に報告し協議します。議会の同意が得られたのち、実施設計費を執行したいと考えています。



(仮称)あわら市西口立体駐車場イメージ図

■農林水産課

議案外の件

イノシシ捕獲マニュアルの説明がありました。その後、3月13日に、鳥獣害対策協議会に加盟する35集落に対する説明会が開催されました。

■観光商工課

委員 中小零細商工業者に対する補助事業が少ないのではないかと。
理事者 平成31年度から、観光商工課を観光振興課と商工労働課に分け、商工業に注力していきたいと考えています。



市政について問う!

3月の定例会では、10人の議員が一般質問を行いました。
ここでは、その質問と答弁の要旨を掲載します。(通告順)



インターネット中継で一般質問をご覧になれます。

- 山口 志代治 議員
 - 鳥獣害対策の取り組みについて
- 毛利 純雄 議員
 - 介護予防(フレイル対策)事業について
 - 農業振興について
- 室谷 陽一郎 議員
 - JR芦原温泉駅周辺整備計画について
- 山田 重喜 議員
 - 行政区(自治会)のあり方について
 - 並行在来線について
- 平野 時夫 議員
 - 風疹と肺炎予防対策について
 - 健康ポイント制度の導入について
- 山川 知一郎 議員
 - 駅西口エリアの整備について
 - 子育て支援について
- 八木 秀雄 議員
 - あわら市の自衛官募集について
- 堀田 あけみ 議員
 - 障がい者の雇用について
 - 外国人雇用について
- 吉田 太一 議員
 - JR芦原温泉駅周辺整備計画について
- 仁佐 一三 議員
 - ごみの個別収集について

鳥獣害対策の 取り組みは

山口 鳥獣害対策協議会と市役所との関係、その法的根拠、業務内容はどうなっているか。事務局は行政で担うべきではないか。

副市長 対策協議会は、15年に剣岳地区で設立され、今日では、北湯地区を含む35集落が加盟しており、鳥獣被害防止特別措置法に基づいています。協議会は、加盟集落に対する連絡や調整のほか、捕獲檻の整備、貸し出しなどを行っています。また、加盟集落の要望に応じて、金網固定柵や電気柵、緩衝帯を設置する事業実施主体として、業務の発注等の事務を行っています。現在は、協議会の業務のほ

んどをJA金津支店の1人の職員が担っているが、その事務処理は限界に達しているため、今後は市が主導的に協議会の運営に取り組みます。

副市長 狩猟免許取得に要する経費の半額程度を助成しており、31年度も10人分の予算を計上しています。

山口 捕獲マニユアルの作成、周知はどこまで進んでいるか。

副市長 あわら市では、県猟友会各支部の意見を聴き捕獲隊を編成しています。

副市長 鳥獣害対策室を設け、専任の職員を配置し、専門的知識の習得や捕獲体制の充実に努めます。

山口 捕獲マニユアルの作成、周知はどこまで進んでいるか。

副市長 マニユアル案はできているので、詳細を詰めて3月中旬に確定させ、加盟集落に周知します。



檻にかかったイノシシ



山口 志代治 議員

あわら市の

自衛官募集の状況

八木 最近10年間の募集の成果は。

集に関し必要があると認めるときには、都道府県知事又は市町村に対し、必要な報告又は資料の提出を求めることができるとされています。あわら市における自衛官募集のための住民基本台帳の閲覧は、合併以前から両町で行われていました。

市長 平成21年度から30年度までの10年間に、16人が入隊しています。男子14人、女子2人となっています。この3年間の入隊状況については、28年度、陸上自衛隊自衛官候補生1人、29年度、候補生2人、陸上自衛隊高等工科大学1人、本年度については、1人が候補生として、陸上自衛隊金沢駐屯地へ入隊する予定と伺っています。

八木 市内で自衛隊のイベント等は実施されているのか。

市長 市民と自衛隊との相互理解を深め、自衛隊の健全な発展に寄与するため、あわら市自衛隊協力が組織されています。市長を会長に、各区の区長を代議員として組織されています。具体的な活動として、焼き芋を渡しました。

市長 自衛隊法施行令第120条の規定により、防衛大臣は、自衛官及び自衛官候補生の募

市長 市民と自衛隊との相互理解を深め、自衛隊の健全な発展に寄与するため、あわら市自衛隊協力が組織されています。市長を会長に、各区の区長を代議員として組織されています。具体的な活動として、焼き芋を渡しました。



八木 秀雄 議員

障がい者と外国人雇用の 現状と今後

障がい者雇用

堀田 あわら市の障がい者雇用率と雇用人数は何人か。

総務部長 法定障がい者雇用率は2.5%であり、あわら市では2.47%と雇用率は下回っています。雇用障がい者数は10人となり、基準を満たしています。

堀田 現状についての認識と今後の取り組みの方針は。

総務部長 雇用人数を確保していることもあり、特に障がい者枠を設けた募集は行っていないが、今後は障がい者枠を設けることも検討していきたいと考えています。

総務部長 雇用人数を確保していることもあり、特に障がい者枠を設けた募集は行っていないが、今後は障がい者枠を設けることも検討していきたいと考えています。

市長 31年度から行財政改革に本格的に取り組み予定であり、雇用環境を改善していきたいと思っています。

堀田 2016年4月

市長 31年2月現在で465人であり、その国



堀田 あけみ 議員

籍はベトナムが1位となっています。また、市内48事業所が雇用しており、技能実習生が最も多く、全体の58%を占めています。

堀田 問題は発生していないか。

市長 集落間き取り調査で、騒がしいことやごみ出しのルールを守らないなど、生活面の苦情を聞いています。

堀田 外国人雇用の方向性と教育の受け入れ体制は。

市長 受け入れ環境の整備や市民の意識啓発など、多文化共生の推進を充実させるため、国際室を新設し、将来的には、市国際交流協会の設立も考えています。

市長 受け入れ環境の整備や市民の意識啓発など、多文化共生の推進を充実させるため、国際室を新設し、将来的には、市国際交流協会の設立も考えています。

市長 受け入れ環境の整備や市民の意識啓発など、多文化共生の推進を充実させるため、国際室を新設し、将来的には、市国際交流協会の設立も考えています。

芦原温泉駅

周辺整備に意見!



吉田 西口駅前広場のプランはできているか。

市長 西口駅前広場には、駅利用者や地域住民が集い、くつろぎと賑わいの拠点として、賑わいホールや大屋根付きの広場、観光案内・魅力体感施設等を整備します。

吉田 土地利用検討街区の進捗状況は。

心に交渉していくことで合意は得られています。今後の予定として、地権者については、合意形成、売却・移転補償額、売買交渉、売却・移転、税金対応と進んでいきます。また、事業候補者については、出店調査、出店計画、売買交渉、設計・建築とステージが進んでいきます。

経済産業部長 JR芦原温泉駅西口の土地利用検討街区における機能充実やにぎわいの創出を図るため、駅西口エリア活用促進協議会を設立しました。新幹線開業までにビジネスホテルを整備することが地権者の資産価値の向上につながる

と認識されており、ビジネスホテル事業者を中

西口駅前広場や民間事業者の進出が見込まれる土地利用検討街区などの開発と連動しながら、今後の活用方策を考えていく必要があります。西口広場に整備する賑わいホールや広場の機能のすみ分けを行いながら、子どもたちや子育て世代、あるいはお年寄りなど地域に住む人たちが気軽に集い、憩うことができる場として活用されよう検討していきたいと考えています。

現在、地権者のステージは合意形成がほぼ終わり、売却・移転補償額へ、事業候補者は出店調査・計画へと進んでいくところです。

吉田 aキューブ及びびん津本陣にぎわい広場の考え方は。



JR芦原温泉駅前

経済産業部長 金津本陣にぎわい広場については、

西口駅前広場や民間事業者の進出が見込まれる土地利用検討街区な

高齢者の

ごみ出し支援を



仁佐 あわら市の高齢者の現状は。

市民生活部長 平成30年4月1日現在、本荘地区及び金津地区を除く10地区において、高齢者人口比率が30%を超え、市内全域で高齢化が進んでいます。

仁佐 高齢者のみの世帯、高齢者の一人暮らしの現状は。

物を決められた場所に集め、委託事業者が収集する「ステーション方式」を採用しています。地区等の意向により設置されているステーションは667カ所、収集に要する委託費は年間約1億1千600万円です。

市民生活部長 高齢者のみの世帯は2千719世帯で世帯総数の27%を占め、このうち、一人暮らし世帯は1千614世帯で約16%となっています。

仁佐 高齢者世帯等に対するごみ収集支援が必要ではないか。

環境づくりを地区全体で十分に検討していただきたいと考えています。

市民生活部長 社会福祉協議会がごみ出し支援活動を行う区を対象に「小地域福祉ネットワークフォロアップ事業」と「通所型介護予防(地域主体型)事業」の助成制度を設けています。

仁佐 地域で高齢者のごみ出しをサポートする体制を構築した場合、まち・むらときめきプランによる事業支援が受けられないか。

総務部長 集落ときめき活動事業補助金の対象については、今後検討していきたいと考えています。

市として、まずはこういった制度を利用していただき、高齢者を支える

市として、まずはこういった制度を利用していただき、高齢者を支える



ごみ

農業振興の

積極的な取り組みを



毛利 純雄 議員

毛利 水田、畑地の耕作放棄地の状況は。

市長 まず、市内の水田面積約2千600ヘクタールのうち、過去3年間で一度も作付がされていない水田が約22ヘクタールで、総面積に占める割合は約1%となっています。

また、土地改良区施設の農道、排水路や農地の被害については、単小規模土地改良事業を活用することにより、復旧に向けた取り組みができるよう県へ要望し、支援していきたいと考えています。

また、土地改良区施設の農道、排水路や農地の被害については、単小規模土地改良事業を活用することにより、復旧に向けた取り組みができるよう県へ要望し、支援していきたいと考えています。

毛利 耕作放棄の理由は何か。

市長 農業従事者の高齢化が進む中、一段と担い手不足が深刻化してい



イノシシによる掘り返しの現場視察

新幹線開業に向けて

立体駐車場整備の再検討を



室谷 陽一郎 議員

室谷 西口立体駐車場の現状は。

また、東口駐車場も100台は月極利用となっている。7億円の費用をかけて、立体駐車場を建設するならば、駅周辺の民間駐車場の活用を考えるなど、工夫してはどうか。

また、土地活用検討街区を民間と民間で進めておきながら、立体駐車場を民間で進めない理由は何か。

市長 駐車場の整備の負担は、あくまで受益者である利用者が負担すべきであり、利用料金をとるので、あわら市長として、他市の首長に一部負担を申し入れることは考えていません。

また、大雪になっても間違いなく200台は確保できます。

また、土地活用検討街区を民間と民間で進めておきながら、立体駐車場を民間で進めない理由は何か。

室谷 JR芦原温泉駅周辺における民間駐車場の空き状況調査報告書によると、11カ所の駐車

場があり、100台が空いているとのことである。また、東口駐車場も100台は月極利用となっている。7億円の費用をかけて、立体駐車場を建設するならば、駅周辺の民間駐車場の活用を考えるなど、工夫してはどうか。

また、大雪になっても間違いなく200台は確保できます。



現在の芦原温泉駅西口駐車場

行政区のあり方

山田 現在、あわら市内には、129の行政区があるが、高齢過疎化が進む中、地域コミュニティは希薄化し、自治会・互助組織としての機能が低下している状況である。

市長 まずは、解散の届が出される以前に、近隣の行政区との合併を促すことを考えています。

市長 まずは、解散の届が出される以前に、近隣の行政区との合併を促すことを考えています。

市長 区が解散するということは、これまでで行われていた空き缶拾いや草刈りなどの社会奉仕活動も実施されず、景観や生活環境が悪化するなど、様々な悪影響が懸念されます。

市長 まずは、住民への行政サービスが低下しないように、周辺の行政区との合併も視野に入れ、その行政区のあり

方を検討していきます。

山田 解散後における災害時の対応をどう考えているのか。

市長 まずは、解散の届が出される以前に、近隣の行政区との合併を促すことを考えています。

例えば、行政区が解散し、再編されたとしても、また、自主防災組織の有无に関わらず、市として、災害時には各区に対し全力で対処していきます。

山田 行政区が合併した場合、どう対応するのか。

市長 行政区が、仮に合併した場合には、各行政区の規約の改正のほか、管理している集会施設や防犯灯などの財産処



山田重喜 議員

分、各種役員の配置などの調整、消防組合といった関係機関への周知などに、適切に対応していく必要があります。

また、各区長から合併に向けた相談があった場合には、「新たな集落の形」を提案するなど、各区の合併後の集落活動の機能が低下しないよう、市が調整役を担っていきたく考えています。



区による草刈り活動

風疹・肺炎予防策と健康ポイント制度導入を

風疹と肺炎予防対策

平野 居住地以外や多くの機関で検査や接種ができるよう取り組むべきではないか。

健康福祉部長 市民検診や職場の検診の機会に加え、全国の医療機関で個別に受けることが可能となります。

健康ポイント制度の導入

平野 健康マイレージ事業導入に向けての進捗状況はどのようになっているか。

健康福祉部長 18歳以上の市民を対象とし、日常生活の中で運動やスポーツを通して健康づくりを啓発し、運動習慣

をつけ、健康寿命を伸ばすことを目的とした健康ポイント事業「あわら健康ときめきチャレンジ」を平成31年度に予定しています。

自らの健康づくりへの取り組みや、健診受診状況、市主催の運動関連イベント参加状況など、約20項目の健康づくり活動にポイントを付け、ポイントを集めていただき、10ポイント以上貯めた人に達成賞として、賞品をプレゼントすることを考えています。

平野 HEECE事業は継続するのか。

健康福祉部長 「HEECE」の新規事業の計画はあるのか。

健康福祉部長 「HEECE」



平野時夫 議員

「あわら観月の夕べ」に合わせ、新たにウォーキング大会を計画しており、北潟湖畔をゴールとする魅力あるコースを検討しています。

また、運動イベントとして、今年9月に開催予定の「あわら観月の夕べ」に合わせ、新たにウォーキング大会を計画しており、北潟湖畔をゴールとする魅力あるコースを検討しています。



駅西口エリアに複合施設を 市が責任を持ち、 市民が納得できる整備を

山田 駅西口エリアは、あわら市の「顔」となる場所である。この整備については、民間主導でしたいとのこと、地権者を中心とした「活用促進協議会」が来年3月末までに整備案を取りまとめるとのことだが、市としての整備案を出さず、「促進協議会」に丸投げは無責任であり、取りまとは無責任ではないか。

市長 西口エリアの整備については、昨年7月に策定した「芦原温泉駅周辺まちづくりプラン」に基づき進めますが、民間の活力で開発できるものであれば、これを効果的に活用すべきと考えています。

現在、地権者の意思統一を図りながら、ビジネスホテル事業者を中心に交渉しているところで、市としては、無秩序な土地利用がなされないよう、ある程度のコントロールは必要と考えています。あくまで民間主導による整備を考えています。

山田 ビジネスホテル建設に反対ではないが、市民が集まってくるためには、ホテルだけでなく、商業施設も一緒にした複合施設が必要と考える。いずれにしても、整備案の作成は地権者任せにせず、市が責任を持って示し、市民が納得できる整備となるよう強く求める。



山川知一郎 議員



駅西口エリア(土地活用検討街区)

激励金・協賛金一覧

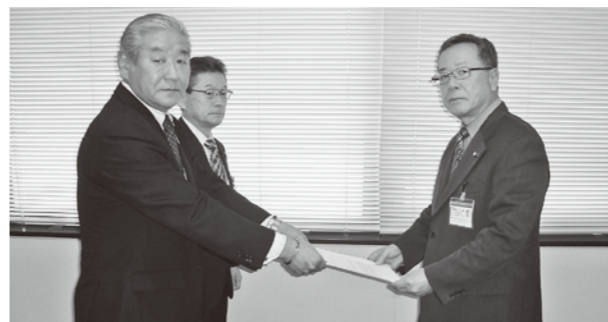
あわら市議会議員会は、青少年の育成を目的に、小中学生がスポーツ等で全国大会に出場する場合、内規に基づき激励金を贈っています。また、地域の活性化を図る観点から、各種協賛も行っています。平成30年度の激励金・協賛金一覧を掲載します。

月	激励金・協賛金の内容	金額(単位:円)
4月	緑の募金	9,000
	金津創作の森友の会年会費	36,000
6月	竹田川フェスタ協賛金	50,000
7月	日本中国友好協会年会費	18,000
	文化協議会賛助会員会費	18,000
	金津まつり「本陣飾り物」PRポスター製作費助成金	100,000
	全国大会等出場激励金(第19回全日本少年少女空手道選手権大会)	10,000
	芦原中学校文化部サマーコンサート協賛金	10,000
	金津中学校サマーコンサート協賛金	10,000
8月	社会福祉協議会特別会費	36,000
	全国大会等出場激励金(第45回全日本中学校陸上競技選手権大会)	5,000
	7月豪雨被害義援金(全国市議会議長会を通じて被災10府県へ)	100,000
	全国大会等出場激励金(第39回文部科学大臣杯少年少女囲碁大会全国大会)	5,000
10月	全国大会等出場激励金(第48回全国中学校バドミントン大会)	5,000
	赤い羽根共同募金	54,000
11月	全国大会等出場激励金(第18回全日本チアダンス選手権大会)	15,000
	全国大会等出場激励金(第46回バトントワーリング全国大会)	5,000
12月	全国大会等出場激励金(JFA第24回全日本U-15フットサル選手権大会)	30,000
	全国大会等出場激励金(第44回全日本バトントワーリング選手権大会)	5,000
3月	全国大会等出場激励金(USA Nationals 2019(チアリーディング&ダンス))	5,000
	全国大会等出場激励金(第32回都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会2019)	5,000
	全国大会等出場激励金(第50回全日本ミニバスケットボール大会)	30,000
合計		561,000

平成31年3月 第96回 あわら市議会定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

議案	議決結果	議員																	
		堀田あけみ	室谷陽一郎	山口志代治	仁佐一三	平野時夫	毛利純雄	吉田太一	森之嗣	杉本隆洋	山田重喜	三上薫	八木秀雄	笹原幸信	山川知一郎	北島登	向山信博	卯目ひろみ	
平成30年度あわら市一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度あわら市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度あわら市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度あわら市水道事業会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度あわら市公共下水道事業会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度芦原温泉上水道財産区水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成31年度あわら市一般会計予算	可決	×	×	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○
平成31年度あわら市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
平成31年度あわら市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成31年度あわら市農業者労働災害共済特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成31年度あわら市水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成31年度あわら市公共下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成31年度芦原温泉上水道財産区水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
あわら市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
あわら市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
あわら市税条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
あわら市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
あわら市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
あわら市母子家庭等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
セントピアあわら条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
あわら市工業用水道事業給水条例の廃止等に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
あわら市及び福井市における連携中枢都市圏の形成に係る連携協約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
新市建設計画の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
あわら市教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
あわら市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
あわら市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
あわら市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員の候補者の推薦について	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×

議活委員長 定数2人減を答申



↑ 議会活性化特別委員会正副委員長(左)から答申書を受け取る議会運営委員長(右)



↑ 議会活性化特別委員会

3月19日の議会運営委員会において、議会活性化特別委員長から議会運営委員長に対して、「あわら市議会議員の定数については、現在の18人から2人減の16人とすることが望ましい。」との答申がありました。

加えて、議会活性化特別委員長からは、これまで11回にわたり会議を開き、①法制度上の確認②これまでのあわら市における議員定数の推移③財政規模、県内自治体、他府県の議員定数の状況④地域固有の事情⑤一部事務組合等近隣自治体との関係⑥女性、若者の政治参加への影響⑦議会運営に及ぼす影響⑧委員会での各委員の主な意見等、以上8項目について協議を進め、結論に達したとの報告がありました。

議会運営委員長からは、この答申を真摯に受け止め、更に議論を深めたいとの発言がありました。

討 論

平成31年度一般会計予算

西口駐車場、西口駅前広場に係る基本設計の実績が示されていない状況で、実施設計の予算は認められない。

理事者は、基本設計が完了次第、議会に報告し、同意が得られた後に実施設計を執行したいとのことである。

特に駅周辺整備の進め方、実施設計費用の計上等、現段階では納得できない。

平成31年度国民健康保険特別会計予算

資産割の税率を下げたことは認めるが、未だ国民健康保険税は高過ぎる。

国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定

資産割及び均等割を即刻廃止すべきである。

全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の実行を求める意見書提出に関する請願

基地周辺住民の平穏な生活を取り戻すために、国に対して意見書を提出すべきである。

● 全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の実行を求める意見書提出に関する請願
 提出者 安破 破 兼 福 井 県 実 行 委 員 会 事 務 局 長 奥 出 春 行
 結果 不採択
 理由 趣旨は理解するが、国レベルの問題であり、地方議会が意見することではない。

請願・陳情 意見書等

※ 地方自治法第99条において、議会は、あわら市の公益に関する事件につき、意見書を国会や関係行政庁に提出することができます。